

諸家系譜

下

位
 ゐ
 井
 伊

庫文官政太		和書門
三三三	五〇	
七	函架	類

庫文門内		和書
三三三	五〇	
七	函架	類

内閣文庫	
番號	和 32650
冊數	71 (13)
函號	156 24

十三

共七十一百

共九十五



系譜

井保揚次頭

下

井伊揚沙次及系在澄養子實出澄兄内面取
在時一男

井伊揚沙次補在及

以代目

後江後下侍從言音願

後揚沙次改
知名音所
官位正位上中將云

在具

母家女 臨后後在房云云在後後是為

改

初在作中

一 寛文甲辰年閏六月廿六日初

御月見仕

出時股中張百枚元ノ之志正出時股又張六
十枚檢元事以正時股之張中枚淨元信
延安八庚申年

一 六月八日

公方様所石例身為何所様様登 城山如

所之部方与所一同之部病者也 長為 正

御目見之 一作身

所養長君元他比交而

上之之有之其之及 所市朝 所市進

元為 長度之 所市朝

一 同八月廿五日 今度 將軍 官下出後交

所上治 所市代 一作身

九月廿日 所市代 沙服

依部所時股中其令百枚所馬之是致也依

名長所被取台之致也 一作身 花月日

元之養長君元他比交而 官下出後交

所市代 相勤

一 十月十日 所市代 所目見 仕少將

勤作不依 敵意者也 一作身

一 十月廿八日 所市代 正安八庚申年

十路改由成

土月廿九日

御前

御旨

御靈

御靈詣之由御先之由

御符

御城由迄史事之付了御事

上之由

延寶九年酉年十月改元天和

六月未日松平被始有御事

御前之由御金儀有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前七月朔日御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

御前之由御事被始有之御事

作有

天祚二壬戌年

二月廿八日午刻朝鮮人馬頭有法事先
然之每之相勸告云

八月廿七日朝鮮人先
先親之在也勸告云

前之
貞享元申子年

御威狀 御書
御威狀 御書
御威狀 御書

御威狀 御書

御威狀 御書

御威狀 御書

御威狀 御書

御威狀 御書

御威狀 御書

陽紀云 作日三三之八文馮孫友致書於山
曰乙亥年

一 六月廿二日於 沔州府 沔州府 沔州府
陸軍 作日致書於山 上三三三

一 七月中 不使 聖如八月二日 沔州府
府系 沔州府 沔州府

一 九月十日 柳河 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府

沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府

一 十月廿八日 沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府

一 二月十三日 沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府

一 六月十六日 沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府
沔州府 沔州府 沔州府

御尋宿池沙草書成下也
日十七年

六月十日力系勅改先府山如所可為
上使相方山及中川流海子心象也
上之也

六月十一日

御尋宿池沙草書成下也

上之也方放抄叙及五朝山大年也

御尋宿池

日十一 寅年

正月十日 御具是沙流之 御相傳也

御尋宿池

以波流波中多之 御尋宿池 御尋宿池

二月七日 御尋宿池 御尋宿池

御尋宿池

二月十八日尾張中細言殿也 御尋宿池

御尋宿池

二月廿二日尾張中細言殿也 御尋宿池

御尋宿池 御尋宿池 御尋宿池

御尋宿池

御尋宿池

御尋宿池

日十二己卯年

二月七日丑初... 山... 下... 堂... 院... 中...

日十三庚辰年

二月十日辰初...

二月十一日辰初... 院... 院...

御免... 仰有...

日十四辛巳年

二月十五日... 院... 院... 仰有...

院... 中

二月十六日... 院... 院... 仰有...

院... 院... 仰有...

二月十七日... 院... 院... 仰有...

院... 中

二月十八日... 院... 院... 仰有...

院... 院...

女子

在... 院... 院... 仰有...

某... 院... 仰有...

女子 井原伯耆守正朝室

女子 阿波豊後守正喬室

大代目

通

延治元年伯耆移封友少將初在長十郎後改

通具嫡子

母家女

一 初屋後中

一 元禄十一年寅年 六月十二日 初

御目見仕

一 元禄十一年巳年

一 二月廿日 阿波元澤寺 安成寺 正朝御目見仕

御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕

御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕

一 三月十八日 元禄十一年 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕

御目見仕

御目見仕

一 三月廿六日 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕

御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕 御目見仕

仕の 入御の長 御近仕家 上之山

宣承之丙戌年

九月之日 初年 漢書 宣元 御成牙

右後 御成牙 御成牙 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

日丁亥年

九月十九日 宣元 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

宣元 御成牙

日六己丑年

四月十六日 今亥抄 將軍 宣下 宣元

御使文 御成牙

六月 宣元 御成牙 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

宣元 御成牙 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

七月 御成牙 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

六月 御成牙 御成牙

御成牙 御成牙 御成牙

上三乙八丈鴻才反政降伏
月七庚寅年

二月二日乙亥

御代者存日光山に
御代相勅也

日月十一日光古に御代也
御代相勅也

御代相勅也
御代相勅也

日月亦日光不降降
御代相勅也

御代相勅也
上三乙也

六月十日御代在
御代相勅也

御代相勅也

一 七月於在而病亦大切相勅也
御代相勅也

御代相勅也
御代相勅也

一 日月廿二日病亦長生
御代相勅也

御代相勅也
御代相勅也

女子

御代相勅也

御代相勅也

御代相勅也

女子

家后上之次女

女子

家后上之次女

在撫

全藏

女子

家后上之次女

在遊

後二條下流之史因情事 初名大女所

新田之身分知

後二條下流之史因情事 初名大女所
在遊 家后上之次女

六代目

在撫

後二條下流之史因情事

初名大女所

實是具子之在通乃為之養女
母家女

二男初在撫中

一 實是具子之在通乃為之養女
初名大女所

初名大女所

一 同記丁亥年十一月廿一日叙爵位

作身之身分知

一 月七 庚寅年通事女子之形而叙爵位

八月形而叙爵位

新正の事及天書又之忌服等事
右記作候也

一 寅水七原宗年

一 因八月十一日於社元祖鳥古夜完沙並布列死
与速通事候申候也 修月忌替等相
遠之申事云候候也尚宗十九歳

一 一月廿五日忌明沙并多取所日忌替等沙礼
申上 御例進上候 上事候等事
沙事候 上事候

一 一月廿二日忌在辰辰辰申候候申候等相

段少取事 御月忌等申候 沙事候

御月忌在辰辰申候候申候等相
上事候

一 九月廿一日病事申候申候申候申候申候

其討事子取事申候申候申候

一 十月廿一日病事申候申候申候申候申候

在勤 是事候 御事候 実名申候等事
在治

再臨后儀右馬守等申候候令等事

室永七庚寅年

一十月六日由多伯老等致口 為多伯老等

石名進進死其有沖用之儀有之記名

石名進進死其有沖用之儀有之記名

石名進進死其有沖用之儀有之記名

一十月廿一日致系府衆門十二日由

上使秋元祖島多及之成下之文也

上之文也

之友作傳抄於以矣亦恐其有長乃致病死

下之抄本也 思石山病中書子

及後以 聞石山病中書子

長系知推有之記名 聞石山病中書子

抄於以也

御代之抄本也

亦其之月何之長致成長亦其後仕抄

本也其抄本也

速發之長致下之抄本也

石名進進死其有沖用之儀有之記名

石名進進死其有沖用之儀有之記名

石名進進死其有沖用之儀有之記名

十月廿六日

一 右日移移及相改中

一 日月十日。昔存河内。下而多指。一。古の石。色以。津。書。身。又。相。達。の。

痛。不。有。之。音。下。沙。の。より。長。於。此。也。

示。樂。 津。河。又。 津。河。津。

杖。つ。り。多。美。若。つ。り。勝。り。也。云。云。

一 日月廿二日。於。 沙。河。の。方。再。勅。く。沙。河。中。

上。河。側。通。く。云。 下。河。の。方。と。云。云。云。云。

上。云。云。云。

一 十月廿九日。向。後。の。向。 沙。河。源。登。

城。く。昔。の。名。を。云。云。云。云。沙。河。用。於。此。也。云。云。

山。北。云。 作。り。の。

一 十月六日。 津。河。の。方。と。云。云。 下。河。の。方。と。云。云。

津。河。の。方。と。云。云。云。云。又。痛。不。有。之。音。下。

中。の。方。より。致。す。入。山。北。津。河。の。方。と。云。云。相。達。の。

一 十月十三日。秋。元。但。馬。の。方。と。云。云。 下。河。の。方。と。云。云。

下。河。の。中。の。方。より。致。す。入。山。北。津。河。の。方。と。云。云。

津。河。人。也。と。有。之。音。下。河。の。方。と。云。云。 下。河。の。方。と。云。云。

入。山。北。津。河。の。方。と。有。之。音。下。河。の。方。と。云。云。 下。河。の。方。と。云。云。

水也

一 日月未方 冲在南方 水为 正交

十路致好也

一 寅卯年 冲在北方 冲在北方

一 冲在北方 冲在北方 冲在北方

作有也

冲在北方 冲在北方 冲在北方

一 二月十二日

冲在北方 冲在北方 冲在北方

作有也

一 二月十六日

冲在北方 冲在北方 冲在北方

作有也

一 六月二日

冲在北方 冲在北方 冲在北方

作有也

一 九月十一日

冲在北方 冲在北方 冲在北方

作有也

冲在北方 冲在北方 冲在北方

一 十月廿日 沙彦... 方修... 沙彦... 以
上... 正... 佐... 上... 中将... 昇... 在... 上... 作... 其...
正... 德... 三... 辰... 年... 一

一 十月廿日 於

沙彦... 日... 痛... 示... 五... 得... 亦... 中... 中... 辰... 建...
上... 同... 山... 登... 一... 故... 勒... 一... 辰... 人... 須... 牙... 任... 辰... 辰... 亦...
家... 一... 沙... 彦... 一... 上... 正... 三... 辰... 年... 一

一 十月廿六日 陽平... 沙彦... 初... 以... 一

沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
作... 其... 一

沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

一 九月廿二日 沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

一 九月廿三日 沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

一 九月廿四日 沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

一 十月 沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一
沙彦... 辰... 正... 三... 辰... 年... 一

若名原沙幼年身了事涉賴 思古
山代并 德涉叙或之美為 津名代祈
款既涉叙 思古山代
上之方有一子身十日
豐涉叙山代身 惠而仕之書涉定書院涉
中使抄叙及身涉者中到身
將軍家涉不涉涉者身一而涉者付身
豊涉叙山代身
若名原之涉方山代涉者身山代 涉用之依
別之大切一抄勸身身 作書身及抄叙

改涉後叙
一十月十八日
上樣涉者身 文為 下 涉身自涉身身改
涉叙
一十月十九日
文豐院樣為涉者身 為涉者身 為改涉叙
一十月廿六日身身身
上樣涉叙冠一涉叙身 涉叙身身叙一
身身一掃上身身 涉叙
一十月廿九日身身

一 御代者二月湯之部方紀元上湯出湯御
文部省在之部湯部中万并文之湯部中
文部省

一 正徳二年巳年

一 二月未下

上様 湯元殿有 湯加冠湯用五勅

御目見之戶外湯武宗系致致令在源也

一 湯蓋及敷之湯部力一湯部部一湯部部

湯部致致令

一 七月塔之湯部仕任及在致品月日

一 本又日致之湯部致令

一 八月七日湯子海部中万并文 正其湯部

在部致令於 湯部致令之湯部

上之直後湯部致令致令

一 九月九日湯部中万并文 湯部致令

湯部致令之湯部致令

一 九月二日湯部中万并文 湯部致令

湯部

一 十月二日湯部中万并文 正其湯部

湯部致令入湯之湯部

上三二

二月病愈身涉修儀

御免之矣 并臨指仕管且又二曾因情与上

新田一乃亦分知仕管及在玉能品口月未之

古座相攝言及秋元但了多及并二同會及

久世大和等及秋元上涉者能色涉修儀

涉元院指及 作身 病中侍中上 亦皆

因情与上 方知 亦能 亦能 亦能 亦能

台 上三二 亦能 亦能

涉修儀中

上夜 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能

亦能 亦能

正徳中 年年二月 右邊門等 改改名 亦能

亦能 亦能 亦能

同年六月 亦能 亦能 亦能 亦能

亦能 亦能 亦能 亦能

亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能

亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能

亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能 亦能

此書亦故書也 丁巳年 作

六條入法海成之改改也

一 日奉口月廿一 河部被前書及以法奉書

早之字也 之字 之字 之字 之字

法奉法海成之改改也

一 日奉口月廿七日 口月廿五日 有之湯原中

法海成法海成書 有之改改也

一 正德六年 十月 令氣 改改也

一 宣保二年 口月廿四日 於五 改改也

口月廿二歲

七代目

正德

正德元年 口月廿五日 改改也

正德元年 口月廿五日 改改也

母家女

正德元年

一 正德元年 口月廿五日 於 改改也

口月廿五日 改改也

一 口月廿五日 改改也

改改也

一 正德二年 己未年十月廿四日

文照院様一向御長身増上

御靈前

御名代

御如所

御月見

上

御長身増上

御長身

御長身

家經公御幼少御長身

御名代

御長身

日記 甲午年

二月廿二日直後殿

御長身

御長身

御長身

一六日二日

文照院様御靈前

御名代

御如所

御月見

上

御長身

御長身

御月見

日記 乙未年

二月十七日

東照宮於湯首年日光山下

湯首代

作

一 日月十一日光上

作

湯首代

作

湯首代

作

湯首代

湯首代

一 日月十一日光

湯首代

湯首代

湯首代

日六申年七月改元享保

一 七月十六日

湯首代

湯首代

享保二丁酉年

一 正月十二日

湯首代

湯首代

相成十

一 四月廿日金氣直具於在可似此言有月
 二日以 上使涉者真白浪六百枚發給
 日已己亥年
 一 九月廿八日涉江邑居所此天相運此此在
 此此於酒... 朝鮮人奉朝... 役事
 先親... 色... 水... 物...
 十月終... 朝鮮人涉江... 向... 色
 水... 物...
 一 十月廿七日於 涉江... 物... 涉江...
 物... 涉江...

上... 朝鮮... 大... 涉江...
 日六 辛 丑年
 一 二月八日... 涉江...
 涉江...
 日七 壬 寅年
 一 三月廿日... 涉江...
 涉江... 城國人... 涉江...
 涉江... 涉江... 涉江...
 涉江... 涉江... 涉江...
 涉江... 涉江... 涉江...

中山

一 日月未嘗一吐夜初久之良早速電

故法極月之火之勢急有火防沙司

作而山如松石骨形 沖候案

只古山在遠處

上之之氣戶向山城各處 又水邊山

日八癸卯年

一 十月十六日

上使 沖卷之勢 秋邊候 臣別の御礼

光 故山 沖卷之勢 上使 臣別

清月見候 作付山

日九甲辰年

一 二月六日田安清の目水地生火三上

委清候テ候 作付山日辰月之山當候

方下之候候各文 作候是玉候中

一 二月中旬比の痛不有之電 故法

申上之候日三月十日 清候而所流母好言存

無所道有之 清候中列候之痛不有之候

上関候候 清候而所流母好言存

清候而所流母好言存 故法

同十三年

一二月...

...

上...

...

...

...

一...

...

...

上...

...

...

一...

...

...

...

...

...

...

日蓮二年

一 八月十日東月日光山

法社ありて其に無礙なるを 仰付まじと

法社ありて其に無礙なるを 仰付まじと

上まじと

一 十月七日於

法社ありて

法社ありて

法社ありて

法社ありて

山麓ありて法社ありて

一 十一月十日於所よりお中火及大失火なる風雨

無礙なるを 仰付まじと

集人ありて其に無礙なるを 仰付まじと

相平なるを 仰付まじと

留滞なるを 仰付まじと

而も其に無礙なるを 仰付まじと

法社ありて其に無礙なるを 仰付まじと

日十二日申年

一 正月二日とて其に日光に無礙なるを

法社ありて

法社ありて

法社ありて

法社ありて

法社ありて

法社ありて

法社ありて

之也... 相... 先...

一 日月十二日... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

日十六 亥年

一 九月八日...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

一 二月六日...

清... 清...

清... 清...

清... 清...

一 六月二日病身... 因情... 子

一 上聞山如未... 年... 有... 痛... 子

一 十月... 日... 月八日... 道

一 右... 日... 因情... 百... 新... 日... 分... 部... 之... 官... 名... 子

一 日... 乙卯年... 子

一 六月... 日... 於... 色... 混... 在... 子

一 日... 年... 七月... 廿... 日... 病... 身... 有... 子

一 元文... 元... 辰... 年... 六... 月... 廿... 日... 於... 在... 不... 病... 身... 子

八代目
一 御書
一 御書
一 御書

八代目

進定

一 御書
一 御書
一 御書

一 御書
一 御書
一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 御書

一 日辛丑月廿六日向後

清江左之了也 作有各名以修慶也

日二十日卯年

一 八月九日並惟新之也 陽和也 作有

亦務之也 遠之也 亦至 德重之也 叙之也

了也 勅也 作由也 高卯二十日歲

一 八月十二日抄於及 各相改下也 也

上之也 執事也 伊列也 也 也 作也

一 八月廿一日也 也

清江左之了也 清使也 作也

一 十月日記於

清江左之了也 清使也 作也 也 也

上之也 清江左之了也 清使也 作也 也 也

十日 清江左之了也 清使也 作也 也 也

清江左之了也

一 十月廿一日也 清使也 作也 也 也

了也 藏也 也 也 也 也 也

大清江左之了也 清使也 作也 也 也

清江左之了也 清使也 作也 也 也

一 日二十日也 清江左之了也 清使也 作也 也 也

一 八月廿八日 旗 清

公方様御代

大納言様御代

上三三 初上

御書

大納言様御代

元文二丁巳年

一 尚年奉勅時

御書

若君様御代

六月十日 旗 清

御書

竹子代様

御書

御書

御書

一 七月廿日 旗 清

御書

御書

一 八月二日 旗 清

御書

一 處之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
一月十六日、嫡子令之助二男處之助物也
涉月八仕也

一 九月十七日

竹下代様 涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉月八仕也

一 一月廿八日、根氣屋令之助於 涉之助庄次郎三男

竹下代様 涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉月八仕也

一 於西九月廿九日、涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
上之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
日天辰申年

一 十月以涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
百十一月二日、改系

涉月八仕也 涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
上之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋

竹下代様 涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋
指上二中台也 涉之助庄次郎三男、仕家成於色之屋

同六年百二年二月改元寛保

一月十五日辰時山根元右衛門北條多正

御奉書

御奉書之沙料理及裁許 仰付金

長治山内沙酒と裁許裁了仕合候事

上云云 於心吹く事沙料理裁許

六月廿二日 於西丸國指江出候事

竹下代様 沙目見有候事 長令裁了致旨

松平右近將監及元右衛門相勤申

八月十二日

竹下代様 沙元服候 沙加冠沙用

先程之色紙と為仕候事

御奉書 正家裁許 上云云

沙魚川裁沙力沙津候

竹下代様 裁許裁了裁真沙力裁至沙馬

裁至沙服指致候事

九月廿二日 沙加冠沙用 毎方致

光 城山内於西丸

右大將様 沙書 上云云

大納言様 沙書 沙上下致津候

一 十二月廿九日二男虎之助叙爵位 作男

因借与古改改名也

寛保二壬戌年

一 十月廿六日二男因借与古進賢病卒如古也

弟相叶致死去尚成二十二歳

延享二乙丑年

一 九月廿日於海遊之旨沙縁叙沙卷中列死

与古進賢也

右大將様沙卷中列死也 威山也

御政督也為清沙中死也 威山 沙卷

公方様沙卷中列死也 威山

沙移督也 威山也 右之進賢也

右作也 將軍 官下也 威山

右作也 依一

右將様也 威山也 色不也 沙卷中列死也

上之也 威山也 進賢也 沙卷中

清目見也 依一 威山也

上之也 威山也 依一 威山也

下之也 威山也

一 十月二十日 將軍 官下也 威山

日光 御書 清康代云 仰付山光
 大綱云 様沙之代 茂之 勅旨云 仰付山光
 一 十月廿日 於 沙之 昌日光 上之 清康代
 仰付山光 沙之
 清康代 同 七日 江之 昌日光 上之 清康代
 延享代 丁卯年
 一 八月廿日 於 茂中 板倉 御書 山光 上之 清康代
 昌日光 城之 昌日光 上之 清康代
 日光 城之
 日光 茂康年 七月 改之 寛延

一 正月十日 旨以
 上使 清康之 厚 改之 山光
 一 六月廿日 上之 朝鮮人 某朝 有 法事 是 祝 意
 上之 勅旨云 仰付山光
 一 六月廿日 朝鮮人 山光 城之 昌日光 上之 清康代
 上之 勅旨云 仰付山光
 一 同月廿日 於 清康之 方 山光 上之 清康代
 上之 朝鮮人 大之 昌日光 上之 清康代
 寛延 丁卯年 十月 改之 寛延
 一 十月廿日 於 茂中 昌日光 上之 清康代
 城之 昌日光

一 年中進出如病家身婦子侍中と直健宅
故如如 涉相談の勸令
上々々々類右進出如身忘忘 修如
寶曆記甲戌年

一 六月十九日類々色隠居也 修如
隠居中

一 日年六月廿一日之殿取与致段名也

一 日年八月二日直健宅 城如直健宅

類々色力病喪在亦也 修如
修如沙洞感之致修如也

直健 令之助

女子 家后に若殿也

女子 江原長濱大色古妻

直英 氏如

女子 家后に若殿也

九代目 直健 從口原祐後傳中書後抄如取与致 知名令之助

寅直惟子兄在定之為一表元
母亦女

初發候中

一 元文二丁巳年八月二日在定那之色表子

一 仰付中

一 同年月日月中六日初

沙目見仕中

一 寛保元年酉年十二月九日在定那色表子

一 浸徳中書占改仕中

一 延享元年甲子年十月六日

一 沙目見仕中

一 同年月日月中六日初

一 上使沙目見仕中

一 日二丁巳年三月十八日向後 沙目見仕中

一 沙目見仕中

一 同年月日月中六日初

一 沙目見仕中

一 日二丁巳年三月十八日向後 沙目見仕中

一 沙目見仕中

一 同年月日月中六日初

一 沙目見仕中

上関

御挨拶

思召山候

上関より御挨拶申列候旨云々

一 寛延元年辰年十月七日 於 御座より

御目見仕家沙書

上関より御挨拶申列候旨云々

實曆辰年

一 六月廿九日 書文並定形之趣御座候旨 御座

御座候旨未達より至御座候旨之趣御座候旨

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

一 同日廿一日 於 御座候旨申列候旨云々

上関より御挨拶申列候旨云々

一 八月病書之趣大切に御座候旨十月廿七日 御座候旨

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

御座候旨申列候旨云々 御座候旨申列候旨云々

与子 恒山

八月

一 日月廿六日病卒年五十五 葬于村田長尾山
沙摩守家沙也

一 日月廿九日病卒年五十五 相行致死云云

直賢

没下位多受用情苦 初名慶之由
二男 初名恒山

女子

实女直惟女
阿弥善之信号正尹室

女子

实女直惟女
阿弥善之信号正尹室

直幸

知源

早世

女子

持法幡大綱云孝信中

再勤

直定

直及氏 抄初可改

再定始後大望初改

实曆记 甲戌年

一 八月廿九日直况致死云云有九月日号直况
力代一類大之月物危隠彼号直况 了直况

有真平大膳受問詔者授与云云如左云云
御書付与相渡

御付与御願

上云云御付与御願者云云御付与御願者云云

与云云 御付与御願者云云御付与御願者云云

再御付与 御付与御願者云云御付与御願者云云

云云云云御付与御願者云云御付与御願者云云

云云云云御付与御願者云云御付与御願者云云

一 十月廿二日奉方方御付与御願者云云御付与御願者云云

實曆又乙亥年

一 七月廿六日御付与御願者云云御付与御願者云云

大監御付与御願者云云

再御付与御願者云云

一 十月六日御付与御願者云云御付与御願者云云

書付与御願者云云御付与御願者云云

御付与御願者云云

一 十月十日御付与御願者云云御付与御願者云云

御付与御願者云云

十代目

近英

後花園天皇御即位
知名氏御
實直惟子見連定方為長兄

丹家女

御即位中

一 實曆己卯戊午十月廿三日近定於此

御即位中

一 同月廿六日御即位

一 同月廿八日御即位

改改名也

一 同日亥亥年正月十八日

御即位 沙靈座 沙皇定

御即位

同年

一 七月廿六日亥亥年正月十八日

御即位 沙皇定

御即位

一 同日廿七日御即位

御即位

同日廿五日

一 己卯年九月

沙袋... 上使波... 山

一 六月十六日

上... 沙... 山

一 八月廿九年

十月... 沙... 山

向... 山

一 己卯年

一 十月十日

沙... 山

一 二月

中... 山

沙... 山

沙... 山

一 二月八日

二月廿一日 湯澤寺書

湯澤寺

作

一月廿一日

公方様書 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

左将様 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

右将様 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

二月廿一日

將軍 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺 湯澤寺

大御所様 御時辰中 改御紙 御月廿六日 御旨後

足立守左衛門尉 三河守 人教 正色 上系

御使 御中 御旨

一 十月廿九日 系 御時辰中 上少将

勅付 御旨 御旨 御旨

寶曆三年 御旨

一 十月廿五日 御旨 御旨 御旨

改系 御旨 御旨 御旨

若君様 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨 御旨

御旨

一 十月廿八日 御旨

上使 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨

一 正月廿八日 御旨

御旨 御旨 御旨 御旨

御旨 御旨 御旨

一 九月廿六日 御旨

若君様 御旨 御旨 御旨

核并 政事 之 次第

一 同日 之 旨 任 官 致 事 之 旨

一 同日 七 日

若 若 様 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 按 子 之 旨

一 同日 之 旨 上 之 旨

公 方 様 若 若 様 之 旨 致 事 之 旨 任 官 致 事 之 旨

任 官 致 事 之 旨 上 之 旨 任 官 致 事 之 旨

一 同日 六 日 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

若 若 様 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨 任 官 致 事 之 旨

若 若 様 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨 任 官 致 事 之 旨

裁 准

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

色 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

一 同日 朝 之 旨 任 官 致 事 之 旨 上 之 旨

明和二年

二月廿日 松平右衛門督有令附信下野坂山

完右太輔の御中 東五紙の如し 光日光

沙石代本勤の御中 光日光 御付の御事

近東佐治郡の御事 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

二月廿日 松平右衛門督有令附信下野坂山

完右太輔の御中 東五紙の如し 光日光

沙石代本勤の御中 光日光 御付の御事

近東佐治郡の御事 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

御事 光日光 御付の御事 光日光

上之山口日井之。波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物...

波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物...

波作府物... 波作府物...

中將... 波作府物...

上之山口日井之... 波作府物...

波作府物...

波作府物...

波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

波作府物... 波作府物...

一 六月廿八日午後

沙加冠一色 宛て 政宅 城守 氏

公方様 御書 上之 旨

大納言様 沙加冠一色 上下 致事 候

日記 丁亥年

一 七月三日 上使 沙加冠一色 致事 候

日六 己丑年

一 又日 沙加冠一色 致事 候

沙加冠一色 宛て 御書 候

別座 沙加冠一色 宛て 御書 候

沙加冠一色 宛て 御書 候

沙加冠一色 宛て 御書 候

上之 旨

一 十二月 日

沙加冠一色 宛て 御書 候

沙加冠一色 宛て 御書 候

上之 旨

日九 壬辰年 十月 致事 候

一 正月九日 日

上使 涉溪之為政也

一 巳月終の光 城の北極の地也

作道折松立の地 二月廿九日大火の事

火茂燃るる事

涉故月宜カル者友取以の防面也

上聞 涉換據也 思言の事

涉也

上之こ 孰涉也 中列也 和事

安承

一 安承二癸巳年

一 十月廿六日 涉の事 涉射苗の白名

改及裁の事 涉の事

涉月見仕家涉也 上之こ

一 日又 丙申年

一 巳月二日 涉の事 涉の事

涉の事 涉の事 涉の事

上之こ 涉の事 勤者

涉法會 涉の事 涉の事

中 涉の事 涉の事

一 巳月二日 涉の事 涉の事

御書付一 御書付一

上之御子自沙下 御書付一 御書付一

九日於西丸 御書付一 御書付一

御書付一 上之御

御書付一 御書付一

一日月十六日 御書付一 御書付一

五箇同日 御書付一 御書付一

日六丁酉年

一日月十日 御書付一 御書付一

御書付一 御書付一

上方様大度間

出御

御書付

御書付一 御書付一

御書付一 御書付一

其月大徳中

日七 御書付一

一日月十日

上使 御書付一 御書付一

一日月十日 御書付一 御書付一

御書付一 御書付一

御書付一 御書付一

文 仰付

日九庚子年

一 日二日今度

沙精任有婦子言善願在甚矣弟如也

沙使也 仰付

天明元年五年

一 同日八月八日於沙精之方沙精沙精中

列在也之於能吉辰

費子伏様 沙精也之也 仰付也方松年

右弟受有也 在達于好於沙精也

公方様 費子伏様 沙目兄也 仰付

一 十月廿八日於 沙精也

仰付也 沙目兄也

沙精也

善若様 沙之腹也

沙加冠一沙役也 仰付也

上之也日又光親也 沙具也

中台也 仰付也

日一五 寅年

一 日二日

善若様 沙之膳

沙加冠 沙用相勤先親之色御之御出仕

御禮

御前

御出仕

此

上之沙加冠御出仕

仕候

大納言梅若

沙加冠御出仕沙加冠御出仕沙加冠御出仕

沙加冠

一月廿八日

沙加冠御出仕沙加冠御出仕

上方様沙加冠御出仕 上之

大納言様沙加冠御出仕 沙加冠御出仕

日之御出仕

一 六月十日 向後沙加冠御出仕

沙加冠御出仕 沙加冠御出仕

沙加冠御出仕 沙加冠御出仕

沙加冠御出仕 沙加冠御出仕

上之

同日甲辰年

一 二月九日

上使小納言御出仕

一 沙彌子 維子致淨紙也

一 六月廿八日 於 沙彌子 為沙彌子

上之 乙未年 大和殿 紙也

日又 乙未年

一 正月十日 沙具 是沙徒 沙相傳也

作 相勸 中 也

沙徒 中 年 沙 五 傳 也 作 也 出 彼

沙 徒 後 乙 未 年 乙 未 作 也 相 勸 中 也

一 六月廿一日

沙 徒 子 沙 給 致 紙 也

一 七月廿一日

上 夜 沙 小 納 紙 也 以 相 奉 紙 也 乙 未 年 沙 徒 子 沙 給 致 紙 也

致 淨 紙 也

日 六 乙 未 年

一 十月廿六日

後 明 院 様 沙 徒 子 沙 給 致 紙 也 為 致 紙 也

日 七 乙 未 年

一 六月廿九日

沙 徒 子 沙 給 致 紙 也 乙 未 年 沙 徒 子 沙 給 致 紙 也

後 明 院 様 沙 徒 子 沙 給 致 紙 也 乙 未 年 沙 徒 子 沙 給 致 紙 也

上之

一 九月一日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 九月廿九日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月一日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月二日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月三日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月四日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月五日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月六日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 十月七日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

周防守及之 申年 申年 申年 申年 申年 申年 申年 申年 申年 申年

一 八月六日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 八月七日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 八月八日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 八月九日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 八月十日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

一 八月十一日 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美 涉及美

涉中尚書下親山乃扶助之矣抄於此
作有之方以書付之矣是也
日九己酉年二月改元寬政

一 正月七日 上使涉小納戸院九小社拜講書
之矣 涉美子之居政院也

一 二月病愈之五日正月廿二日
上使涉小納戸院九小社拜講書也

涉中尚書涉忠之
上之之之之味乃漢
涉中政院也

一 日月未日病愈不在勝山分福宮仙院之矣

御尋家涉忠之 上之也

一 日月每日病愈不相叶致死去也尚書
六十一葉

女子 松平親信与康政室

逝尚 早世

逝寧 早世

女子 實吉女松平正頭宗法女
將法福大納言實紀兼中

女子

安永女并侍者幼少瑞蓮存女
秋元但言吉永胡室

進費

近江下侍波吉善久 官少將之旨
養母安永女幼少瑞蓮存女
後安永進高改知在是吉

安母安女

初在役中

一 天明二丙戌年六月又日進幸致之色瑞子

安 作身山

一 安永記乙未年十月十日初安永之瑞子

御目見仕山

一 日年閏三月十日初安永下侍波吉善久

致改名山

廿五日乙未年八月朔并初安永

初安永相伺安永之瑞子

一 安永又丙申年十月日初

上使安永之瑞子初安永

一 日八乙亥年七月廿八日初

安永 安永 安永

安永 安永 安永

一 日九庚子年正月二日初

一 涉清任身事於... 涉使至 作身事

一 同奉九月八日奉詔... 涉使至 作身事

一 烏吉走涉清... 涉使至 作身事

一 涉清... 涉使至 作身事

一 涉清... 涉使至 作身事

一 涉清... 涉使至 作身事

一 同奉十月廿八日... 涉使至 作身事

一 礼中... 涉使至 作身事

一 天明元... 涉使至 作身事

一 天明元... 涉使至 作身事

城山... 涉使至 作身事

立... 涉使至 作身事

涉... 涉使至 作身事

作... 涉使至 作身事

一 同奉七月... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 涉... 涉使至 作身事

一 天明己卯辰年六月移於 湯屋
 御月見 湯屋
 上之 父孫 初 色 生 初
 湯屋 湯屋 湯屋 湯屋
 一 日 己卯年七月廿九日
 上使 湯屋
 一 日 七 未 年 七月 湯屋 如 日 一 日 湯屋
 湯屋
 上使 湯屋
 上之

一 右日 以 橋 宗 仙 院 湯屋
 湯屋 湯屋
 上之

女子 三 苑 丹 渡 門 室
 某 仙 西
 某 早 世
 某 早 世

十代目

延保集信後立書以後揚叙以改知名庭下節

忠申

養母存於中捕忠存女 定母家女

幼盾後中

一 天明七丁未年九月廿二日 忠幸能之也嫡子

云 仰有以

一 同年十月十二日 初日 忠目兄仕也

一 同年十一月十二日 初日 忠光 城山如指安出叙

一 同年十二月十二日 初日 忠信 忠信下侍後立書與

一 改改若山

一 同八月申年正月十八日 初日

一 忠文 忠靈殿 忠美修之也

一 忠信之也 仰有以 仰有以

一 同年正月十八日 初日 忠信 忠信之也

一 忠信之也 仰有以 忠信之也

一 忠信之也 仰有以

一 同九月己未年二月直幸福富身打音福中叙矣

一 忠中叙叙也 仰有以 仰有以

一 忠信之也 仰有以 忠信之也

一 改改若山 仰有以 仰有以

府下仕官沙路書御其有之京原住山
 一 寛政元乙酉年十一月八日
 上使土屋能光与沙香首奥白根六中校致降依
 同年月日申下於松平侯其古友完沙御中
 列丹子元友揚叙以是依之相違与下金張
 子中先叙之包下系勅与叙 仰古山為南三
 十七景
 一 同月廿六日申下 下宅 城原揚叙及与
 名下和改者
 一 上宅之々叙沙路中列丹子之叙後依山

一 同月廿八日申下 沙路中之山叙格別沙路
 考一 上宅之山
 女子 松平河波与治原室
 女子 松平肥前与治原室
 女子 江原長溪大通与養女
 又助 早世
 某 江原長溪大通与養子
 直廣 依沙路
 安守云叙沙路也羽衣子

幸繁

豊後守

真田木宗大史幸弘吉子

女子

実長女山崎守統英福姫
之元丹後守澄門後妻

直朝

浪之助

直明

氏之助

女子

実長女山崎守統直朝女

女子

酒井徳太郎忠道室

女子

松平直利政忠湯室

直容

勇吉

女子

松平英徳吉容仁室

某

押之介

江原長次福田吉養子

某

吉之助

女子

某

女子

某

某 東之助

某 皇吉 早世

有之通沙

長城江列表根

高之格方名

近江國 武藏國之内 下野國 生國

并保揚次頭

成二十八

寛政二庚戌年十月

連中

印

系譜

并保揚次頭

并新抄

原譜

大藏冠孫良後胤遠以國司友京其保并存
十七代身存玄勃直政嗣子實二男

知名身之而正位上乃中將攝政以

友京直孝

養母松平周防守原親女 實母家女

慶長十乙巳年正月廿五日叙次後下政攝政用

日十八庚戌年任攝政以

日二十乙卯年於攝政以

神祖之命依是遺傳力病身使後及改一

辨之再云 嚴命不得其為嗣子
同奉宣旨六月十九日叙授正任侍從
實元承之丙寅年八月十九日任右近衛少將
正保二乙酉年正月廿一日叙授正任左近衛
中將
万治二乙亥年六月廿八日卒七十歲

直滋 知名勳員 後任下任後勳員佐

養母藤原河波宮家女 實母家女

實元八^年 未年十一月晦日叙授正任侍從
勳員佐

万治元^年 戊午年十一月廿日依病薨
實元^年 七年六月九日卒八十歲

直寬 辨之助 依病退身

直時 知名 仙之助

實母家女

正保元^年 甲申年十二月廿九日叙授正任左馬助
兼兼二^年 乙酉年八月改内匠

百派元女 戊午年正月廿日 卒二十六歲

直興 女十歲

女子

直澄

初生名 實母家女

正保元甲申年十一月廿九日 叙派元佐下任左衛門
可治元 戊午年見 叙有依執 兵内正以早也

為嗣子

日二乙亥年九月七日 叙派元佐下任佐治
實父元乙巳年正月十日 任左衛門少將
改攝於派
延寶元丙辰年正月二日 年六十二歲

直興

實内正以直時男

直澄養為嗣子

女子

實養女内正以直時女
所被養後寄正武家

以下先達言書出申作

直典

直典
六月廿八日

舟停揚歌願

寬政元壬午年七月

直中

与

寛政元壬午年七月
直中
与

